

2025年度 授業コード: 21103500

授業科目	*母性看護学演習					実務家教員担当科目	○				
単位	1	履修	必修	開講年次	3	開講時期	前期				
担当教員	前田 幸/杉浦 絹子/古賀 玉緒/山田 恵/新郷 朋香										
授業概要	<p>対象の健康状態に応じた看護を実践できる能力を育成することを目的に、事例を用いて看護過程の展開方法や看護技術を学ぶ。</p> <p>1. 看護過程演習では、母性看護方法論における知識をもちいて対象を多角的に捉え、根拠をふまえてアセスメントを行い看護計画を立案する。</p> <p>2. 母性看護技術演習では、基本的な母性看護技術を演習する。</p> <p>以上のことについて、実務家教員として臨床で実務経験を有する教員が教授する。</p>										
授業形態	対面授業			授業方法	Google フォームを活用した支援、Classroom を利用した自主学習支援を行う						
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>1. 母性看護における看護過程の展開方法を理解し、実践できる。(DP1-2、2-1、4-2)</p> <p>1) 母性看護に関する基本的知識を述べることができる。</p> <p>2) 収集した情報を根拠に基づいてアセスメントできる。</p> <p>3) 対象の全体像をとらえることができる。</p> <p>4) 対象の状態に応じた診断ができる。</p> <p>5) 診断ごとに目標(退院までに期待される成果)が設定できる。</p> <p>6) 目標に応じた看護計画が立案できる。</p> <p>2. 母性看護学に必要な技術の方法を根拠をもって理解し、実践できる。(DP4-1、4-2)</p> <p>3. 母性看護に携わる実践者として倫理に基づき責任ある態度で取り組むことができる。(DP4-1)</p>										
理想的レベル	標準レベルを達成したうえで、他者との連携や意見交換を主体的に取り組むことができる。また、看護過程演習や母性看護技術演習においては常に根拠を考え対象を捉え、基本に沿った技術を習得することができる。										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合(数値)			備考						
試験		50									
小テスト											
レポート		30			看護過程の提出内容で評価します。						
発表(口頭、プレゼンテーション)		15			看護技術試験に関して、不合格者には再試験を行います。						
レポート外の提出物											
その他		5			授業への参加度やレポートの提出状況を評価します。						
カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU21307J
学習課題(予習・復習)										1回の目安時間(時間)	

予習：母性看護方法論の内容を復習しておく。 復習：講義の中で提示された課題に取り組む。	1
授業計画	
第1回	母性看護における看護過程（1）（前田、古賀、杉浦、山田、新郷） 1. ウエルネス診断にもとづく母性看護の看護過程の概要について解説する。 2. ウエルネス診断にもとづく母性看護の看護過程の方法について解説する。 3. 課題事例について説明する。 4. 母性看護技術演習について説明する。 第1回目と第2回目は連続して行う。
第2回	母性看護における看護過程（2）（前田、古賀、杉浦、山田、新郷） 1. ウエルネス診断にもとづく母性看護の看護過程の概要について解説する。 2. ウエルネス診断にもとづく母性看護の看護過程の方法について解説する。 3. 課題事例について説明する。 4. 母性看護技術演習について説明する。
第3回	A：母性看護技術演習（1）（古賀、杉浦、山田、新郷） 1. 母性における看護技術を実施する。 2. 母性における看護技術の方法について必要な観察項目や手順についてまとめる。 B：看護過程の展開（1）（前田） 妊娠・分娩の経過のアセスメント・まとめを行う。（個人ワーク） 第3回目と第4回目は連続して行う。
第4回	A：母性看護技術演習（2）（古賀、杉浦、山田、新郷） 1. 母性における看護技術を実施する。 2. 母性における看護技術の方法について必要な観察項目や手順についてまとめる。 B：看護過程の展開（2）（前田） 妊娠・分娩の経過のアセスメント・まとめを行う。（個人ワーク）
第5回	A：看護過程の展開（1）（前田） 妊娠・分娩の経過のアセスメント・まとめを行う。（個人ワーク） B：母性看護技術演習（1）（古賀、杉浦、山田、新郷） 1. 母性における看護技術を実施する。 2. 母性における看護技術の方法について必要な観察項目や手順についてまとめる。 第5回目と第6回目は連続して行う。
第6回	A：看護過程の展開（2）（前田） 妊娠・分娩の経過のアセスメント・まとめを行う。（個人ワーク） B：母性看護技術演習（2）（古賀、杉浦、山田、新郷） 1. 母性における看護技術を実施する。 2. 母性における看護技術の方法について必要な観察項目や手順についてまとめる。
第7回	母性看護技術演習（3）（古賀、杉浦、山田、新郷） 1. 看護技術試験 看護過程の展開（3）（前田）

	<p>1. 課題事例（産褥期・新生児期）のアセスメントを行う。（個人ワーク）</p> <p>第7回目と第8回目は連続して行う。</p>
第8回	<p>母性看護技術演習（4）（古賀、杉浦、山田、新郷）</p> <p>1. 看護技術試験</p> <p>看護過程の展開（4）（前田）</p> <p>1. 課題事例（産褥期・新生児期）のアセスメントを行う。（個人ワーク）</p>
第9回	<p>看護過程の展開（5）（前田、古賀、杉浦、山田、新郷）</p> <p>1. 全体質疑応答</p> <p>課題事例（産褥期・新生児期）のアセスメントについて解説する。</p> <p>2. 担当教員との質疑応答・個人ワーク・意見交換</p> <p>3. 課題について説明する。</p> <p>（全体像、看護診断、看護目標・看護計画）</p> <p>第9回目と第10回目は連続して行う。</p>
第10回	<p>看護過程の展開（6）（前田、古賀、杉浦、山田、新郷）</p> <p>1. 全体質疑応答</p> <p>課題事例（産褥期・新生児期）のアセスメントについて解説する。</p> <p>2. 担当教員との質疑応答・個人ワーク・意見交換</p> <p>3. 課題について説明する。</p> <p>（全体像、看護診断、看護目標・看護計画）</p>
第11回	<p>看護過程の展開（7）（前田、古賀、杉浦、山田、新郷）</p> <p>1. 全体質疑応答</p> <p>課題事例の全体像および看護診断、看護目標・看護計画のまとめ方について解説する。</p> <p>2. 担当教員との質疑応答・個人ワーク・意見交換</p> <p>第11回目と第12回目は連続して行う。</p>
第12回	<p>看護過程の展開（8）（前田、古賀、杉浦、山田、新郷）</p> <p>1. 全体質疑応答</p> <p>課題事例の全体像および看護診断、看護目標・看護計画のまとめ方について解説する。</p> <p>2. 担当教員との質疑応答・個人ワーク・意見交換</p>
第13回	<p>看護過程の展開（9）（前田、古賀、杉浦、山田、新郷）</p> <p>1. 全体質疑応答</p> <p>課題事例の全体像および看護診断、看護目標・看護計画のまとめ方について解説する。</p> <p>2. 担当教員との質疑応答・個人ワーク・意見交換</p> <p>第13回目と第14回目は連続して行う。</p>
第14回	<p>看護過程の展開（10）（前田、古賀、杉浦、山田、新郷）</p> <p>1. 全体質疑応答</p> <p>課題事例の全体像および看護診断、看護目標・看護計画のまとめ方について解説する。</p> <p>2. 担当教員との質疑応答・個人ワーク・意見交換</p>
第15回	<p>看護過程の展開（11）（前田、古賀、杉浦、山田、新郷）</p> <p>1. 全体質疑応答</p>

	<p>2. 看護過程について解説 計画立案後の SOAP について解説する。 帝王切開時の看護過程について解説する。</p>
テキスト	<p>系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② 森恵美他著 医学書院 病気がみえる⑩ 産科 第4版 MEDIC MEDIA ウエルネス看護診断にもとづく母性看護過程 第3版 太田操著 医歯薬出版株式会社 ウエルネスの視点にもとづく母性看護過程 第4版 太田操著 医歯薬出版株式会社 ナーシンググラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 荒木奈緒他著 MC メディカ出版</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>病気が見える⑨ 婦人科・乳腺外科 第4版 MEDIC MEDIA 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨ 末岡浩他著 医学書院 適宜、資料を配布します。</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>受け付けた質問に関しては、個人または必要に応じて全体で共有します。看護過程の中間レポート提出後に各担当教員からのコメントを返しますので、参考にして演習に取り組んでください。技術試験に関しては、試験直後に評価コメントを返します。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>母性看護学実習に必要な科目です。 講義は母性看護学概論・母性看護方法論で得た知識をふまえて進めていきます。母性看護学概論・母性看護方法論で学習した内容について復習しておきましょう。 課題の達成にむけて積極的・自主的に予習・復習や自己練習に取り組みましょう。なお、不明な点は教科書を見直す、教員に確認するなどして解決しましょう。 看護過程演習では各教員が担当します。 看護技術演習では隔週で A・B グループで順番に技術を学びます。 感染予防の観点からも指定された教室以外の移動は控えて下さい。感染予防ガイドラインを遵守し演習に臨んでください。</p>